

「総ぐるみ」新聞

NPO 総ぐるみ福祉の会事務所は日限山 4・44・23 (八四四一七四七七)
 入会や活動のお問い合わせ先は、事務所または「日限山荘」 日限山 4・7・1

「ユニット型」介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)

陽のあたる丘 MISSIONO 見学記

特別養護老人ホームとしては新形式の「ユニット型」施設の、二回目の見学報告です。

○交通の便：「陽のあたる丘 MISSIONO」(平成十八年四月開所)は、日野インターから鎌倉街道を鎌倉方面に向かう公田交差点の手前、右の小高い丘の傾斜地、栄区鍛冶ヶ谷にあります。JR 京浜根岸線の本郷台駅下車徒歩二〇分、また、JR 大船駅、京浜急行または市営地下鉄の上大岡駅から、市バスにて「鍛冶ヶ谷」バス停下車、徒歩五分です。

○施設の概要：すべて個室の居室、十室をワンユニットとして、食事や入居者交流をする共同生活室があり、ここには大型プラズマテレビや冷蔵庫、電子オーブンレンジやコーヒーメーカーなどがあって、中には、電気釜の置かれたユニットもありました。

定員は百二十名(個室百二十室、十二ユニット)です(ショートステイ二十室、二ユニットを含む)。各ユニットは、「さつき」「すずらん」といった花の名がついていました。傾斜地にある建物は、共に三階建ての A、B 棟に分かれ、正面玄関のある A 棟三階から、長く眺望の良い渡り廊下(面会家族や地域住

民との交流ギャラリーや展示スペースに使用)で B 棟の三階につながっています。B 棟三階には、看護センター・静養室のほか、毎月第二、第四水曜日に開業する理美容室があつて、パーマもかけられますし、訪問マッサージも有料で受けられます。また、お菓子類などを置いた小さな売店もありました。

なお、入居者も地域住民の一員という意識から、多目的ホールは地域に開放されていて、書道・大正琴のグループの練習場や発表会に使われています。

○施設の受け入れ態勢：生活基盤の確立が主要目的の施設なので、急変が予測される持病(疼痛管理の必要なガン、低血糖が心配される糖尿病、気管切開、疥癬、透析など)のある方は、入所を断る場合があります。ただし、日常的医療行為が必要な胃瘻や床ずれのある方々、また認知症の方々は、一ユニットずつ入居されています。認知症のユニットでは、居室の鍵は施錠せずに、フロア内は自由に行き来ができます。

○居室：居室の広さは約八畳。電動ベット、エアコン・テレビ(戸棚・引出付き台あり)、

小テーブルと椅子、クローゼットが設備されていました。洗面台は各室にありましたが、トイレは隣り合った二室の中央に設置されていて、共同使用でした。トイレのドアはアコーデオンカーテン、一方が中でトイレの電気をつけると、他方の壁面ランプが点灯して使用中がわかります。そのため、隣室は同性の利用を原則としているとのことでした。

家具の持ち込みは自由ですが、仏壇の火気使用は禁止、冷蔵庫は中身の管理ができる場合のみということ。パソコンは持ち込めますが、インターネット接続は不可能です。また携帯電話の使用は、居室内のみです。

○介護体制と提携病院：一ユニットに介護職員四、五人とパート二、三人、一日四交代の勤務体制になっています。

非常勤医師による診療が週二回、看護師は昼間勤務のため、夜間は当番看護師に電話連絡をとって指示を得ることになります。提携病院は横浜栄共済病院。歯科はさつき台診療所で、週一回の診療があります。

開所以来のこの二年間で、一〇例ほどの看取りを経験したそうです。

○食事：食事は、温冷配膳車によって各ユニットに運ばれ、刻み食やミキサー食にも対応。見学当日は、ご飯にわかめと豆腐のみそ汁、金目鯛の煮付け、じゃが芋と人参のきんぴら、漬物、パイナップル缶(小五切れ)の昼食(五〇〇円)を試食、少々味が濃いと感

日限山荘の転倒予防体操の予定：9月5、12、26日(いずれも金曜日)午後2〜3時 指導：小高 典子氏

(裏へつづく)

8月、日限山荘の昼食会は1ヶ月お休みさせていただきます。9月は、裏面に開催日を掲載。

じましたが、おいしくいただきました。

○入浴：入浴は、週二回以上利用が可能で、大浴槽はなく、広い洗い場にカーテンで囲って個室の小浴槽が、三カ所に三つずつありました。他に、座った状態、寝た状態で入浴できる特殊機械浴槽があります。

○行事等：七夕などの行事は各ユニットで行い、施設全体で行うのはクリスマスや幼稚園との定期的な交流会等です。

なお、観光レクリエーションとして、参加者をつのって行うお出かけ(大船フラワーセンターなど)やユニットの意向で出前の食事をとる等、有料のお楽しみ会があります。

○入居費用：要介護四、五の人が入居者の大半を占めていて、介護保険自己負担分一割と健康保険による医療費は自己負担です。

居住費・食費は、本人所帯の四段階の課税所得ランクに応じて決定され、第四段階の方は、約十七万〜二十万円ですが、それ以外の段階の方は減額が受けられます。

○感想：居室の面積は、有料老人ホームと同じか、むしろ広い感じで、緑の多い傾斜地に建った施設全体は、とても明るい雰囲気好感がもてました。(文責 藤井香代)

日限山荘の昼食を配食しています

日限山荘で作る昼食の配食を利用して、いるお二人が、感想を寄せてくださいました。

■週二回の幸福便

小泉 宗信

食事の支度がとみに億劫になってきたのはここ四、五年のことのように思われます。加齢によるものか？喜んで食べてくれる人がいない故でしょうか？ 昼夜逆転の生活

日限山荘では、週二回手づくりのおいしい食事を作って皆様の利用をお待ちしています。

で、夕方四時頃まで寝ている主人に、生活のリズムがすっかり狂ってしまったようです。私自身、遅い朝食をとると昼食は食べないで済ませることが多くなりました。

これではいけないと思い、宮崎さんに、NPO「総ぐるみ福祉の会」のお食事配達サービスをお願いするようになりました。ことに火曜日は毎週出かける用事があるので、主人にも早起きをしてもらうように頼みました。届けてくださる方とお話するのが楽しみになった主人も、「今日の方は宮崎さんかな」「松尾さんかな」と報告してくれます。

お食事も初めは薄味かな？と思いましたが、いつの間にか私の味付けも薄味になっておりました。食材も多種類使われていて、家庭の単調な料理と違って、毎回楽しみです。食事づくりをしてくださる方々の細やかな心遣いとお手数には、大変感謝しております。心荒ぶこの頃の世相の中、総ぐるみの方々の活動の温かさは、まことに貴く、ありがたうございます。

■心のこもった食事に感謝 田中 明子
八十九歳でひとり暮らしの私は、食事作りも思うようにならなくなり、一年ほど前からNPO「総ぐるみ福祉の会」の昼食配食サービスを利用させていただいています。私の朝食はお粥にお豆腐、おろしりんご、夜はヘルパーさんにおそばを作ってもらっている食事パターンです。

市販のお弁当とは異なり、心のこもったお料理の数々、時に豚カツなどが届き、とてもおいしく、毎日でもお願いしたいくらいです。食事作りの皆様に大変感謝しています。

長谷川致正さんを偲んで

長谷川さんは何でもできる方でしたので、頼まれた事は決して「いや」とは言わずに引き受けてくださるお人柄でした。

NPO総ぐるみ福祉の会には、設立当初から理事や監事を引き受けて、平成十八年度まで積極的に運営にかかわられました。もともと長生きをして下さり、このNPOが今以上に花咲く様子を見守ってほしい方でした。

私がいづき会に入会した折には、既にいろいろ活躍されていて、今は亡き増澤さんから、大正十二年生まれの四人、年齢の順では増澤さん、私、長谷川さん、今川さんの順序の四人でしたが、「この四人は老年兵だよ」といわれ、「同期の桜」を何回か一緒に歌ったことを懐かしく思い出します。

今年の春までは、一柳さんや松尾さんの送迎によって、日限山荘の食事会にも来てくださったのに、体調を崩されて急激に外出が難しくなられたと聞き、いちどお見舞いに伺いたいと思っておった矢先、私も眼を悪くして入院することになり、お見舞いを果たせなかつたことがとても心残りです。

六月十七日にご逝去されたことを入院先の病院で聞きましたので、ご葬儀にも参加できず、家内が代わって伺わせていただいた次第です。心よりご冥福をお祈りいたします。

平成二十年七月

庄司俊二